

(別紙)

様式第1号(第5条関係)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和5年度 第2回 美幌町都市計画審議会
開 催 日 時	令和6年3月28日(木) 15時00分 開会 16時15分 閉会
開 催 場 所	美幌町役場 第1会議室
出 席 者 氏 名	【委員】 味噌一郎、藤井幸夫、千葉正美、中川寿一、宮田博行、高橋清、 稲垣淳一、横山清美、宮崎奈津江、渡辺齊、大河原芳之
欠 席 者 氏 名	馬場博美
事務局職員職氏名	遠國建設部長、森口建設課長、宮田建築主幹、中村都市整備G主査
議 題	1 開会 2 会長挨拶 3 会議録署名委員の指名 4 議案 第1号 都市計画マスタープランについて 第2号 立地適正化計画について 5 その他 6 閉会
会議の公開又は 非公開の別	公開
非 公 開 の 理 由 (会議を非公開とした場合)	—
傍 聴 人 の 数 (会議を公開した場合)	1名(報道機関)
資 料 の 名 称	<ul style="list-style-type: none"> ・将来都市像と目標 ・全体構想 ・誘導施設と誘導施策 ・企業立地意向調査の結果
会議録の作成方針	<input type="checkbox"/> 録音テープを使用した全部記録
	<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープを使用した要点記録
	<input type="checkbox"/> 要点記録

発 言 者	審議内容（発言内容、審議経過、結論等）
遠國部長	<p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 <p>2 会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会長挨拶 <p>3 会議録署名委員の指名</p>
味噌会長	<p>藤井委員、千葉委員ご両人をお願いしたいと思います。</p> <p>4 議案</p>
中村主査	<p>（資料（将来都市像と目標、全体構想）に基づき内容説明）</p> <p>質疑なし</p>
中村主査	<p>（資料（誘導施設と誘導施策、企業立地意向調査の結果）に基づき内容説明）</p> <p>（以下質疑応答）</p>
宮田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・旭通から橋を渡りT字路になる箇所は、建設業協会として、直接道道北見端野美幌線へ接続するため、上流部に橋を新設することを要望し、大正橋は、パークゴルフ場やスケートリンク場への町道として残すべきと要望していた。現在の考えを確認したい。 <p>（事務局回答）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な話は進んでいないが、今まで進んでいなかったものが、少し前向きに協議が進み始めた段階。色々な課題を整理しなければならず、手法については、まだまだこれからというところ。 ・橋の場所を変更するには、接続する都市計画道路の変更も出てくるため、時間は相当かかる。更に住民との合意形成も求められることから、手順含めて、北海道と協議を進めている。
横山委員	<ul style="list-style-type: none"> ・工業団地や稲美地区の用途地域拡張により、工場や店舗が新規立地すると、道路が一番重要視されてくると思う。旭通と国道の交差点は曲がり切れないほど停車している状況から、道路整備が重要で、大正橋の課題と併せて計画に入れていく必要がある。
中川委員	<ul style="list-style-type: none"> ・240号を津別方面から来た時に、下り勾配から思うように停まれないこと、右折して美幌峠へ向かう際、信号の関係で交差点まで車が滞留していて曲がれないことが、課題としてあった。信号の問題は交安

<p>宮崎委員</p>	<p>となるが、商店街の方からも交差点を何とかしてほしいということは、従来から言われてきていた。これまで開発局へ要望してきたが、技術的にもコストのかかる難しい工事になると聞いたことがある。</p> <p>(事務局回答)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交差点改良により、大正橋の交通量緩和にもつながるとの話もあり、セットで検討すべき事案と考える。 ・都市計画の目標が素晴らしく、こんなまちになればいいなと思った。委員になり、意識的に歩くようになってから感じたこととして、家も駐車場も広く、まちが間延びしている印象を持つ。都会は家と家が近く歩いても視覚的に楽しい。小さい家ほど緑を大切に、庭づくりをきちんとしていると思った。行政だけでなく、まちの人がまち並みをつくる気持ちや意識の高さを持っているまちが、良いまちであり、そこがセットと思う。今は仕事が忙しく、家も効率化するため、庭をつくらない家庭が多く見られる。高齢の方の自宅や庭は、綺麗にしている方が多いと思うが、その方たちがいなくなると、雑草だらけのただの家になってしまう事を危惧している。 ・転勤することで、色んなまちを知っている学校の先生に認められるまちは、本物と言われており、先生の意見も聞いたら良いと言われた。町民は客観視できていない部分もあるため、俯瞰的視点を持った方にも協力いただき、評価の参考にしてはどうかと思った。 ・美幌高校の地域みらい留学のお子さんは、まちへの移動は徒歩となる。都会なら歩き疲れを感じたら、カフェや公園などちょっと休める場所があるが、場所がないと歩き続けることになるため、そういう意見も参考になると感じた。 ・例えば、北中からスポーツエリアまで、高校含めて、全部坂道なので、子どもたちは必至で自転車や徒歩になり、その辺りの意見も聞いてみてはと思った。
<p>高橋委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料は少ないが、色々と考えなければならぬことが多く、特に計画の中心となる将来像を皆さんで議論することは、大変重要と感じた。 ・会長から都市の縮退の話があった。人口が減っているにも関わらず、まちの規模は逆に拡大している。答えは車で、車に乗る限り都市は拡大する。それをどうするのか、今回の計画の大きなメッセージとしており、まさに歩いて暮らせる便利なまちをつくるんだというところを一番に持ってきたことを、町民の方にもメッセージとして、発信していくべきと思う。 ・今夏オリンピックのあるパリは、15分都市というものを計画している。歩いて15分、ただ歩くだけでは実現不可能で、ゼロカーボンを目指す中、自転車活用を見据えたルート整備をしている。美幌町も、歩いて暮らせる便利なまちだけで、全て片付くわけではないため、車も当然必要となり、賢い使い方をすべきと思う。冬もあるが、自転車をより使いやすいまちにするということが必要で、自転車活用推進計画のようなものをつくる必要があると思うし、メッセージをしっかりと発信していくことが大事だと思う。

味噌会長	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も都市計画マスタープランと立地適正化計画を同時に考えなければならぬことは特に重要になる。恐らくマスタープランと立地適正化計画が合本されると思うが、他市町では、別々になっているところ、一緒にすることで、やるべきことがより明確になる計画となるため、チャレンジングな計画となるが、しっかりやっていただきたいと思う。メッセージも大事だが、裏付けられた政策が重要であり、行政として取り組むこと、民間の人たちもどう協力するか、共働という言葉もあるが、庁内議論により、政策とメッセージをいかに繋げていくのか、しっかり描いていただきたいと思う。 ・住民のまちに対する思い、都市計画への思いをどこまで高めていくかが、最後の肝になる。最近パブリックライフという言葉を使うが、パブリックライフとは、公共の生活であり、家を一步出て、出会うすべての出来事をパブリックライフと言い、他人の家の前や道路も通り、風景も見る。いかにパブリックライフを充実させるかというのが、これからのまちづくりと言われている。美幌町は、特に今日は山がきれい、知床連山含めて全部見え、周りの風景が充実している。後は内をいかに綺麗にしていくか、行政が草を植える、庭をつくる、ポケットパークをつくるということだけでなく、住んでいる人が、パブリックライフとしてまちに関わっていけるのかをしっかりとやらなければならない。パブリックライフとして、少しでも意識が外に向けば色々な形で変わってくることもある。 ・都市の将来像は良いが、美幌の美と絡んでいることが強調され、美しいまちに直接落ちないようにして頂きたい。美化作業で綺麗にする事とは全く異なる。前段にある自然と地域と人が共生し、なおかつ美しいまちを目指すもの。共生はすごく難しく、人がある意味で、我慢しなきゃいけないところがあると思うが、それでも最終的に、美しいまちを目指すという、メッセージがしっかりと伝わるようにした方が良いと思う。細かい点では、都市計画の目標のうち、防災の目標の読点の位置が、高め合うの後であるべきと思う。最終的には計画のメッセージになるため、町民に伝わるようにして頂きたい。 <p>6 閉会</p> <p>(会長による閉会挨拶)</p>
------	--